

1話5分!

小学生のうちに読んでおきたい名作101もくじ

はじめに

この本の見方

2

10



第1章

低学年

1・2年生で読みたい32作品

001 赤毛のアン (モンゴメリ)

12

002 西遊記 (中国の民話)

14

003 マッチ売りの少女 (アンデルセン)

16

004 星の銀貨 (グリム兄弟)

18

005 ごんぎつね (新美南吉)

20

006 赤いろうそくと人魚 (小川未明)

22

007 星の王子様 (サン＝テグジュペリ)

24

008 シンドバッドの冒険 (イスラムの民話)

26



016 015 014 013 012 011 010 009

走れメロス (太宰治)

28

イワンのばか (トルストイ)

30

セロ弾きのゴーシュ (宮沢賢治)

32

蜘蛛の糸 (芥川龍之介)

34

饅頭こわい (落語)

36

野ばら (小川未明)

38

一房の葡萄 (有島武郎)

40

杜子春 (芥川龍之介)

42

028 027 026 025 024 023 022 021 020 019 018 017

小僧の神様 (志賀直哉)

44

鼻 (ゴーゴリ)

46

手袋を買いに (新美南吉)

48

スーホの白い馬 (中国の民話)

50

賢者の贈り物 (O・ヘンリー)

52

宝島 (スチーブンスン)

54

トム・ソーヤの冒険 (トウエイン)

56

フランダーズの犬 (ウィーダ)

58

クリスマス・キャロル (ディケンズ)

60

雪女 (小泉八雲)

62

アリ・ババと40人の盗賊

64

(イスラムの民話)

66

幸福の王子 (ワイルド)

66

036 035 034 033

ふしぎの国のアリス (キャロル) ..... 84

ドン・キホーテ (セルバンテス) ..... 82

小公女 (バーネット) ..... 80

三銃士 (デユマ) ..... 78

第

2

章

中学年

3・4年生で読みたい31作品

032 031 030 029

低学年

声に出して読みたい!

名作の中の名ゼリフ ..... 76

黒ものがたり (椋鳩十) ..... 74

あとかくしの雪 (日本の民話) ..... 72

ねずみ経 (日本の民話) ..... 70

寿限無 (落語) ..... 68

040 039 038 037

飛ぶ教室 (ケストナー) ..... 92

モモ (エンデ) ..... 90

ガリバー旅行記 飛ぶ島ラピュータ (スウィフト) ..... 88

十五少年漂流記 (ベルヌ) ..... 86



053 052 051 050 049 048 047 046 045 044 043 042 041

ゲド戦記影との戦い (ルゥグウイン) ..... 94

ドリトル先生航海記 (ロフティング) ..... 96

注文の多い料理店 (宮沢賢治) ..... 98

坊っちゃん (夏目漱石) ..... 100

野菊の墓 (伊藤左千夫) ..... 102

よだかの星 (宮沢賢治) ..... 104

銀の匙 (中勘助) ..... 106

窓ぎわのトットちゃん (黒柳徹子) ..... 108

最後のひと葉 (O・ヘンリー) ..... 110

桜の園 (チエーホフ) ..... 112

老人と海 (ヘミングウェイ) ..... 114

にんじん (ルナール) ..... 116

変身 (カフカ) ..... 118

わたしの生涯 (ケラー) ..... 120

ヴェニス商人 (シェイクスピア) ..... 122

つぼをあけてしまったパンドラ

(ギリシヤ神話) ..... 124

スイセンになったナルキッソス

(ギリシヤ神話) ..... 126

聖書物語 ノアと洪水 (バック) ..... 128

大造じいさんとガン (椋鳩十) ..... 130

時そば (落語) ..... 132

耳なし芳一 (小泉八雲) ..... 134

山月記 (中島敦) ..... 136

ビルマの豎琴 (竹山道雄) ..... 138

声に出して読みたい! 名作の中の名ゼリフ ..... 140

中学年

074	073	072	071	070	069	068	067	066	065	064
海底二万マイル (ベルヌ)	東海道中膝栗毛 (十返舎一九)	モンテ・クリスト伯 (デュマ)	風と共に去りぬ (ミッチェル)	ハムレット (シェイクスピア)	たけくらべ (樋口一葉)	二十四の瞳 (壺井栄)	ロミオとジュリエット (シェイクスピア)	吾輩は猫である (夏目漱石)	若草物語 (オルコット)	銀河鉄道の夜 (宮沢賢治)
162	160	158	156	154	152	150	148	146	144	142

085	084	083	082	081	080	079	078	077	076	075
鼻 (芥川龍之介)	名人伝 (中島敦)	檸檬 (梶井基次郎)	月と六ペンス (モーム)	細雪 (谷崎潤一郎)	風立ちぬ (堀辰雄)	舞姫 (森鷗外)	伊豆の踊子 (川端康成)	三国志 (吉川英治)	ジャングル・ブック (キップリング)	レ・ミゼラブル (ユーゴー)
184	182	180	178	176	174	172	170	168	166	164

093 092 091 090 089 088 087 086

はつ恋 (ツルゲーネフ)

186

若きウエルテルの悩み (ゲーテ)

188

五重塔 (幸田露伴)

190

こころ (夏目漱石)

192

黒い雨 (井伏鱒二)

194

車輪の下 (ヘッセ)

196

雪国 (川端康成)

198

おとうと (幸田文)

200

もっと読みたい  
人にすすめる

著者名順

おすすめ作品  
180

219

さくいん

282

おとなのみなさんへ

287



高学年

声に出して読みたい!

名作の中の名ゼリフ

218

白鯨 (メルヴィル)

202

ガルガンチュワ物語 (ラブレー)

204

阿Q正伝 (魯迅)

206

羅生門 (芥川龍之介)

208

高瀬舟 (森鷗外)

210

路傍の石 (山本有三)

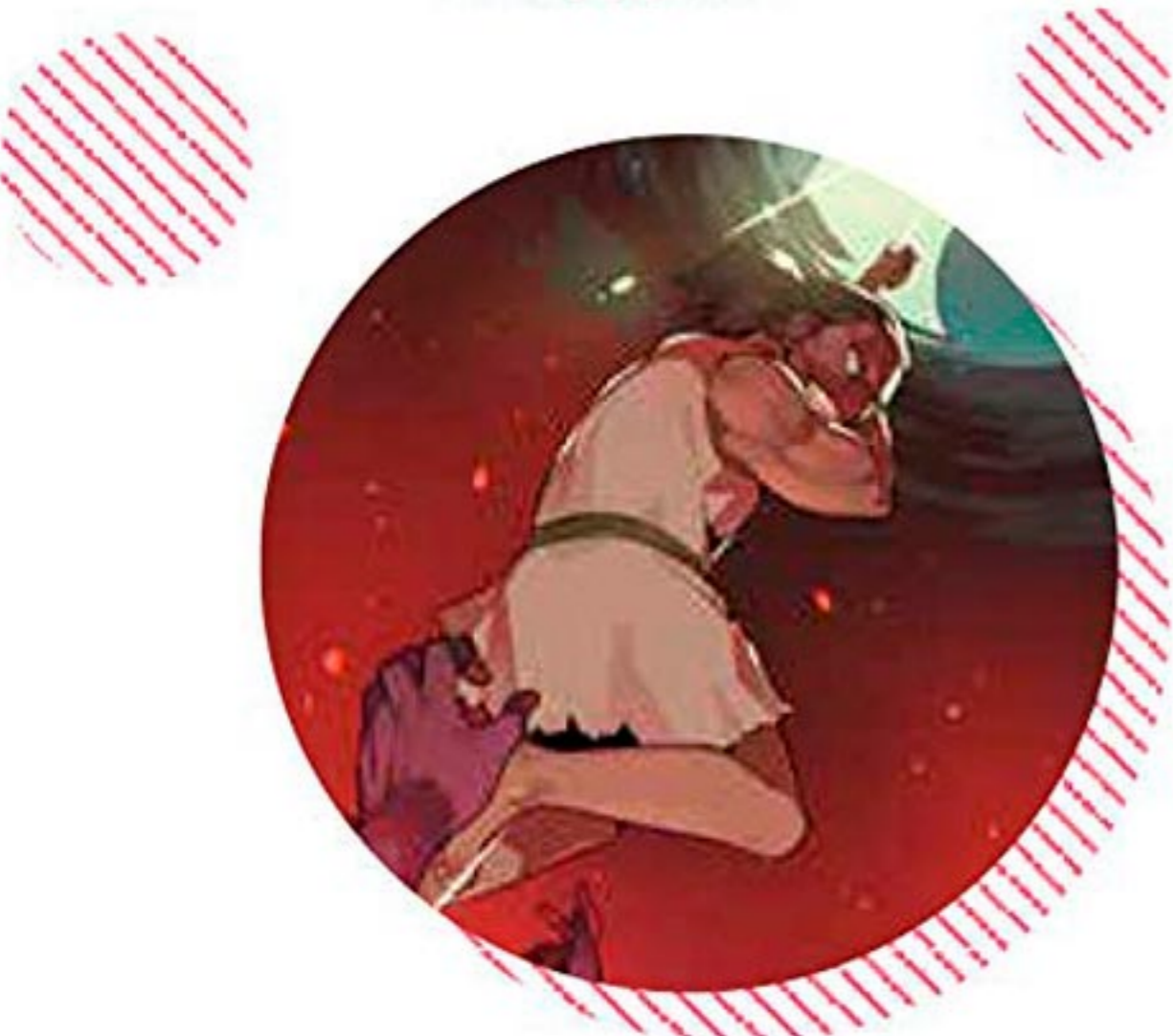
212

人間失格 (太宰治)

214

罪と罰 (ドストエフスキー)

216



004

# 星の銀貨

困っているときにこそ  
人を思いやった女の子

あるところに、とてもまずしい女の子がいました。その女の子のお父さんとお母さんは、すでに亡くなっていました。女の子にはきちんとした家もなく、今着ている服のほかには、着るものをもっていないせいでした。あるのは親切な人がめぐんでくれた、ひとかけらのパンだけです。

あまりにみすぼらしいために、女の子は町の人たちから嫌われていました。心ない人からは、石をぶつけられたこともあるくらいです。でも、女の子はとても清らかな心をもっていて、神様のことを信じ

発表：1815年  
国：ドイツ



## グリム兄弟

兄（イラスト左）：1785～1863年  
弟（イラスト右）：1786～1859年

ドイツのハーナウ生まれの兄弟で、父は法律家。兄弟で言語学者、文学者として活躍。2人ともゲッティンゲン大学の教授をつとめていた。ドイツ各地から集めた昔話をまとめた『グリム童話集』を出版した。

短編

幸せ

思いやり

読んだ日

が月

に日



ていたのです。

あるとき女の子が、町を離れて野原を歩いていると、おなかをすかせた男の人と出会いました。「何か食べるものをおくれ」という男の人に、女の子は自分が持っていたひとかけらのパンを、全部あげてしまいました。そして「**※神様のお恵みがありますように**」といい、また歩き出しました。女の子が歩きつづけると、今度は泣いている男の子に出会いました。男の子が「頭が寒い」というので、女の子は自分がかぶっていた帽子をあげて、また「神様のお恵みがありますように」といいました。

その後も女の子は、何人もの人に出会いました。寒さにふるえている子どもには、自分が着ている上着を、肌着だけを着た子どもには、はいていたスカートをあげました。そしてかならず「神様のお恵みがありますように」というのでした。

女の子はさらに歩いて森にやってきました。すると今度は、はだかの子どもに出会いました。女の子

は「もう夜だから見る人もいないし、はずかしくな  
い」と自分にいい聞かせ、最後に残った肌着を、は  
だかの子どもにあげてしまいました。そしてやっぱ  
り「神様のお恵みがありますように」といいました。  
はだかになった女の子が森に1人で立っている  
と、突然、空からたくさんの星々が降ってきました。  
その星々はすべて**※銀貨**だったので。しかも女の  
子はいつのまにか、上等の肌着を着ていました。女  
の子はその銀貨によって、一生お金に困ることなく、  
幸せに暮らすことができました。



人は自分が困っているときには「ほかの人にまでかまっていられない」と思いがちです。でも、自分が困っているときにこそ、ほかの人を思いやることが大切なのです。その行いは、かならずだれかが見ているもの。他人を思いやれる心の豊かな人には、きっとすばらしいことが待っています。

語句の意味

「神様のお恵みがありますように」：キリスト教徒が相手の幸せを願うときのことば。一般の人々が使う「お幸せに」と近い意味がある。／銀貨：銀でできたお金のこと。



005

## いんぎね

いたずら好きの  
キツネが見せた思いやり

はっぴょうねん  
発表：1932年  
くににほん  
国：日本



にいみなんきち  
新美南吉

ねん  
1913～1943年

にほんじどうぶんがくさつかげんざいあいちけん  
日本の児童文学作家。現在の愛知県  
はんたしうまれ。4さいははな  
半田市生まれ。4歳で母を亡くし、  
ははじっかしょうねんじだいおくきょういん  
母の実家で少年時代を送る。教員な  
どをしながらさくひんはっぴょうけっかくわづら  
作品を発表。結核を患  
い、29さいしきよだいひょうさく  
歳で死去。ほかの代表作に『お  
じいさんのランプ』など。

たんべん  
短編

ぜんあく  
善悪

おも  
思いやり

よ  
読んだ日

が  
月

に  
日

ある山の中に「ごん」という名の、ひとりぼっち  
の小さなキツネがいました。ふだんは森の中に穴を  
掘って住んでいるのですが、しばしば村にやってき  
ては、いろいろないたずらをするのです。

雨上がりのある日、ごんは村を流れている小川の  
近くまでやってきて、草むらから人間たちのことを  
のぞいていました。その中の1人、兵十は網で魚を  
とり、※びくの中に放り込んでいました。しばらく  
すると兵十は、魚を入れたびくを土手に置いたまま、  
どこかへ行きました。

ごんはむしように、いたずらをしたくなりました。  
そして、びくの中の魚をつかんで、川に投げ入れて  
しまいます。最後に残った太いウナギはヌルヌルし  
て手でつかむことができなかったので、頭を口でく  
わえました。するとウナギが、ごんの首に巻きつい  
てきたのです。そのとき、兵十のどなり声がしたの  
で、ごんはウナギが巻きついたままの格好で必死に  
逃げて、森の穴に帰りました。そこでようやくウナ  
ギを首から外すことができたのです。

それから10日ほどたって、ごんは村で兵十のお母



さんのお葬式を見かけました。ごんは「兵十のおつ母は病気で寝ていて『ウナギを食いたい』といったにちがない」と気がつき、いたずらをしたことを後悔したのでした。

ごんはそのつぐないのために、イワシ売りから盗んだイワシを兵十の家に投げ込みました。ところが兵十はそのせいで、イワシを盗んだとろぼうと誤

解され、なぐられてしまいます。それでもごんは気を取り直して、今度は兵十の家に栗やマツタケをくり返し運ぶようになりました。

あるとき、兵十はごんが家に入ったことに気づきます。そして「ウナギを盗んだキツネが、またいたずらにきた」と思い、火縄銃でごんを撃ってしまいました。兵十がかけ寄ると、土間には栗がかためて置いてあります。兵十が「栗をもってきてくれたのはおまえだったのだな」というと、ぐったりと横たわったごんは、目をつぶったままうなずきました。



『ごんぎつね』は悲しいお話ですが、心があたたかくなる物語でもあります。ごんは、自分のちよつとしたいたずらが兵十を悲しませたのではないかと思い、つぐないをはじめたのです。ひとりぼっちのキツネだったからこそ、母親を亡くした兵十のつらさがわかったのかもしれないね。

009

# 走れメロス

友の信頼に答えるため  
懸命に走りつづける！

発表：1940年  
国：日本



太宰治

1909～1948年

小説家。現在の青森県五所川原市生まれ。東京帝国大学在学中に、井伏鱒二（→p.194）に弟子入り。自己破壊型の作家といわれ、自殺未遂をくり返したのちに、入水自殺をとげる。代表作に『斜陽』『人間失格』など。

短編

友情

勇気

読んだ日

が月

に日

村の牧人・メロスは、結婚をする妹にお祝いの品々を買うために、シラクスにきていました。買った物をした後、親友のセリヌティウスをたずねようと思、町を歩いていましたが、なぜか町全体が、とてもさびしいように感じました。

メロスは町の人から話を聞き、そのさびしさの原因が、王様にあると知ります。王様は人を信じることができず、何人も人を殺しているというのです。このことに、正義感の強いメロスは激怒しました。そして短剣を持ち、王様を殺すために城に向かいます。

したが、すぐに警吏につかまってしまいました。

メロスは王様に「人を疑うのは、もつとも恥ずべきことだ」といい寄りました。しかし王様は聞く耳をもたず、はりつけの刑をいいわたします。メロスは「死ぬ覚悟はできている。でも妹に結婚式をさせてやりたい。3日間だけ時間がほしい」と訴えますが、信用してもらえません。しかたなく親友のセリヌティウスを人質に、3日間だけ待ってもらおうことになりました。城に連れてこられたセリヌティウスは無言でうなずき、メロスを抱きしめました。



メロスは急いで村に帰り、クタクタになりながらも妹の結婚式を開くと、シラクスにもどるために朝早く村を出ました。途中ではんらんしている川をわたったり、山賊たちと戦ったりと、次々に困難が起こつても、メロスは走ることをやめませんでした。

でも、ついに動けなくなってしまう、メロスは寝転がりました。「必死にがんばったのだから、もう

進まなくてもよいのでは？」。そんな思いが頭をかすめました。水を一飲むと、また走り出したのです。メロスは走りについていた刑場に駆け込みました。つけにされようとしていた刑場に駆け込みました。メロスはなんとか間に合ったのです。2人は相手を1度だけ裏切ろうとしたことをおたがいに告白し、なぐりあった後、泣きながら抱き合いました。王様がそれを見て「わしも仲間に入れてほしい」というと、人々から歓声が上がりました。



『走れメロス』の文章はリズムが良くておもしろく、声に出して読んでみると、まるで自分が登場人物の気持ちに近づいたような感覚になれます。そうすることで、この作品のテーマである「人を信頼することの意味」を、自分のこととしてより深く考えることができるようになるでしょう。

牧人：牧場で家畜を飼育する人。／シラクス：イタリアのシチリア島にあった都市。／警吏：警察官のこと。／人質：約束を守るといふ意思を証明するために、捕らえられた親しい人。

011

動物たちにたのまれて  
何度も演奏していたら…

# セロ弾きのゴーシュ

発表：1934年  
国：日本



宮沢賢治

1896～1933年  
日本の詩人・童話作家。現在の岩手県花巻市生まれ。教員としてつとめた後、農民の生活向上に力をつくしたが、肺結核を患い、37歳で死去。著作の多くは死後に評価が高まった。代表作に『風の又三郎』など。

短編

成長

心のふしぎ

読んだ日

が月

に日

町外れの水車小屋に住むゴーシュは、午前中はト  
マト畑やキャベツ畑の手入れをし、午後になると町  
の※活動写真館に行きます。ゴーシュはこの活動写  
真館の楽団である「金星音楽団」で※セロを弾いて  
いるのです。「金星音楽団」は音楽会に向けて、一  
生懸命練習していました。ゴーシュも必死でしたが、  
楽長からは何度もきびしく注意されていました。  
ある晩のこと、ゴーシュが水車小屋の中でセロの  
練習をしていると、三毛猫があらわれました。三毛  
猫は「※トロメライを弾いてくれ」とたのみましたが、

イライラしていたゴーシュは、ものすごいいきおい  
でべつの曲を弾き、三毛猫を追い出しました。  
次の日の晩、カツコウがやってきて「正確なドレ  
ミファを教えてほしい」といいます。ゴーシュはう  
るさいと思いつつも、セロで「ドレミファ」を弾  
きました。でもカツコウは「そんなんでないんです」  
と行って、何度もつづけて「かつこう」と鳴きました。  
ゴーシュはカツコウにつられて何度もセロを弾いて  
いるうちに「カツコウのほう正しいドレミファで  
はないか」という気がしてきました。でもまた、だ



んだんとイライラしてきて、カッコウを追い返してしまいました。

次の晩、今度は子どものタヌキがやってきて、「小太鼓の練習をしたい」といい、ゴーシユに楽譜を見せました。その楽譜に合わせてセロを弾くと、子どももタヌキは「2番目の糸を弾くときに遅れる」と、ゴーシユの演奏の問題点を指摘したのです。

さらにその次の晩には、野ネズミの親子がやってきました。そして母ネズミが「子どもの病気を治してほしい」といいます。ゴーシユは何のことかわからないまま、子ネズミをセロの穴から中に入れ、演奏しました。演奏が終わると、子ネズミはセロの中から出てきて、元気に走り出したのです。

音楽会の日、金星音楽団が演奏を終えると嵐のような拍手と、アンコールが巻き起こりました。その求めに応じるために、楽長が指名した演奏家は、なんとゴーシユだったのです。



ゴーシユは楽団でもっとも下手な演奏家でした。それが動物たちの前でわけてもわからず演奏をしつづけることで、知らないうちに上達し、音楽会では開き直ってすばらしい演奏をします。ゴーシユは動物たちとの出会いを通じて「音楽には心のゆとりが大切だ」ということに気がついたのです。

活動写真館：映画館のこと。／セロ：弦楽器のチェロのこと。／トロメライ：「トロイメライ」のことだと思われる。作曲はシューマン。「夢見ること」という意味のおだやかな曲。

023

いたずら好きの少年が大活躍する冒険物語!

# トム・ソーヤの冒険



トウエイン

1835～1910年  
アメリカの作家。4歳のときに一家でミシシッピ川沿いに転居。12歳で父を亡くし、印刷工や蒸気船の水先案内人、新聞記者などとしてはたっていた。のちに作家となり『トム・ソーヤの冒険』は大ベストセラーに。

中編

冒険

勇気

読んだ日

が月 日に

※ミシシッピ川沿いの小さな町に住むトム・ソーヤは、いたずら好きでわんぱくな少年です。トムのお母さんはすでに亡くなっていて、彼はおばさんに引き取られ、いつしよに暮らしていました。

あるとき、トムはいたずらの罰として、おばさんから塀のペンキぬりを命じられました。ところがトムは、なぜか楽しそうにペンキをぬっています。それを見た友だちやおりがかりの人は、なぜだかペンキがぬりたくなってしまい、トムに「自分にもやらせて!」と声をかけてきました。中にはペンキぬ

りをやりたくて、リンゴやビー玉をトムにあげる友だちもいたくらいです。こうしてトムは、嫌だったペンキぬりを、まんまと人にまかせることができたのでした。

そんなトムには、ハックルベリー・フィンという大親友がいます。トムは彼を「ハック」と呼び、いつしよに※いかだで川を下ったり、海賊になろうとして無人島に上陸したりして遊んでいました。

ある真夜中、トムとハックは墓場に冒険に行きました。そこで、インジャン・ジョーという男が人



を殺す現場を目撃します。トムとハックはこわくなく「このことはだまっていよう」と約束しました。しかし、裁判になり、インジャン・ジョーに罪を着せられた老人が困っているところを見ると、いてもたってもいられなくなりました。勇気を出したトムが、見たことを洗いざらい証言すると、インジャン・ジョーは裁判所から逃げ出してしまいました。

その後の夏休み、トムは女友だちと連れだって洞くつに出かけました。洞くつの中で道に迷ったトムは、なんとインジャン・ジョーと出くわします。トムはなんとか外に逃げ出ることができましたが、インジャン・ジョーは数日後、洞くつの中で死体となって発見されたのでした。

インジャン・ジョーが洞くつで何をしていたか気になったトムとハックは、後日洞くつを探検し、たくさんの金貨を発見します。2人は大金持ちになりましたが、その後もいたずらをやめませんでした。



トムのいたずらはユニークで、読んでいて心がワクワクしてきます。でも、トムはいたずら好きだけではありません。たまたま目撃した殺人事件について、裁判でしっかりと証言する勇気ももっているのです。おそろしい殺人犯に立ち向かうことは、なみ大抵の勇気では、とうていできないでしょう。

ミシシッピ川：アメリカ中部を流れる川。北米でもっとも長く、面積も最大。作者のトウエインはこの川のそばで育った。／いかだ：木材などをならべて結びつけ、水に浮くようにしたもの。



## 芥川龍之介の作品



1892〜1927年  
日本の小説家。現在の東京都中央区で生まれる。大正時代を代表する作家の1人で、「芥川賞」はその業績を記念してつくられた文学賞。  
『蜘蛛の糸』(↓p.34) 『杜子春』(↓p.42)  
『鼻』(↓p.184) 『羅生門』(↓p.208)

## トロッコ

芥川龍之介の短編小説。

小田原・熱海間に、鉄道を敷く工事がはじまった。

8歳の良平は土砂を運ぶのに使うトロッコに興味をもつ。ある日、若い土工にトロッコを押すことを許された良平は、有頂天になって土工を手伝い、知らないうちに遠くまでできてしまっていた。しだいにあたりが暗くなり、良平はどんどん不安になっていき……。

【作品が読める本】『21世紀版少年少女日本文学館6』（講談社）



芥川龍之介の短編小説。

主人公は、ある雨の降る夜、インド魔術の使い手・

## あさのあつこの作品



## バッテリー

中学校の野球部を舞台にした、児童文学作家・あさのあつこによるベストセラー小説。

中学入学を目前にひかえた春休み。岡山県に引っ越してきた原田巧は、天才的なピッチャーだった。自分の才能に絶大な自信をもっている巧は、ときに冷酷に他人を切り捨てることもある。そんな巧と同級生の永倉豪は、彼とバッテリーを組むことを熱望する。キャッチャーミットをかまえた豪は、巧に本気で野球をすることを申し出る。

【作品が読める本】『バッテリー』（教育画劇）

## 有島武郎の作品



1878～1923年  
日本の小説家。4歳で東京から横浜にうつり、父の方針でアメリカ人の家庭で育つ。札幌農学校で、キリスト教の洗礼を受ける。アメリカに3年間留学。帰国後、執筆活動をはじめめる。『二房の葡萄』（↓p.40）

## 小さき者へ

妻を亡くした著者が、幼い3人の子どもを勇気づけるために書いた作品。残された子どもたちに未来をたくそうとする、父親の愛情がこぼれ出ている。また同時に、芸術のために生きようとする作者自身の覚悟や、社会の格差に対する問題意識も込められている。『作品が読める本』『小さき者へ・生れ出する悩み』（岩波文庫）

## アルセーニエフの作品

## デルスー・ウザーラ

19世紀末から20世紀初頭にかけて活躍したロシアの探検家・アルセーニエフによる探検記録。彼は当時、

ロシアの地図に詳細が載っていなかったシホテ・アリ地方の地図製作を政府から命じられる。探検に出かけた彼らをガイドしたのは、先住民・ゴリド族の猟師、デルスー・ウザーラだった。はじめはウザーラを下に見ていたアルセーニエフだが、しだいに彼の生き方から人生の意味を学んでいく。『作品が読める本』『デルスー・ウザーラ（上）』（河出文庫）

## アンデルセンの作品



1805～1875年  
デンマークを代表する童話作家・詩人。デンマークの中央部にあるフン島のまじしい靴職人の家に生まれる。少年時代に父親を亡くし、母親によって育てられた。『マッチ売りの少女』（↓p.16）

## お父ちゃんのすること ましがいない

アンデルセンの童話。  
田舎の農家に、お父ちゃんとおかみさんが暮らしていた。ある日、お父ちゃんは数少ない持ち物の1つである1頭の馬を売るか、もっと得になる何かと交換し